

平成22年度 国立江田島青少年交流の家企画事業

## 海色創造塾～ホップ・ステップ・そして!～

- 【趣 旨】 様々な人々との出会いやコミュニケーション能力・自己表現能力・社会参画体験の演習等を通して、自立的・協働的なリーダー的力量を形成する。
- 【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立江田島青少年交流の家  
江田島市教育委員会
- 【期 日】 基礎編・・・中学生：平成22年8月18日（水）～19日（木）  
高校生：平成22年8月18日（水）～20日（金）  
実践編・・・平成22年9月4日（土）、10月11日（月・祝）、10月24日（土）  
11月13日（土）・10月14日（日）  
応用編・・・平成22年12月27日（月）  
平成23年1月16日（日）、2月5日（土）、2月11日（金・祝）
- 【会 場】 国立江田島青少年交流の家他
- 【参加者数】 基礎編・実践編 13名（高校生3人，中学生10人）  
応用編 31名（高校生6人，中学生25人）※一部参加を含む
- 【主な内容】 基礎編・・・コミュニケーション実習「ぼくらはジョーズ（話し上手・聞き上手）」  
江田島応援計画を立てよう， Cutter研修  
実践編・・・みかんクッキーの試作，レシピ作り，フェスティバル江田島での試食会  
応用編・・・音楽評論家による講演「田家秀樹さんの江田島音楽トーク」の企画立案及び運営

### 【企画・運営のポイント】

この事業は、平成19～21年度に、国立三瓶青少年交流の家、国立吉備青少年自然の家、国立山口徳地青少年自然の家と当施設が共同で調査研究を行った「発達段階に応じたリーダー養成プログラムの開発と試行」の成果を生かした事業である。

自立的・協働的なリーダーとして明日の社会を生き抜く力を青少年が獲得するためには、

- 1 自己肯定感や自己有用感の効用につながる「個の確立」
- 2 社会で人間関係を創りながら自立的に生きていくための「自立力」
- 3 社会で主体的に貢献していく存在となる「社会参画力」

の育成支援する必要性があると考え、次の点に留意しプログラムの企画・運営を行った。

- (1) 基礎編では、これからともに協力して活動していく意欲を持たせ、参加者同士の連帯感を高めるため、最初のプログラムにCutter研修を取り入れた。
- (2) 基礎編・実践編をとおり、自己肯定感をもち社会参画への意欲を高めるために、愛着のある地元江田島を盛り上げる企画を考え、実行する活動を次のように取り入れた。
  - ①フィールドワークで江田島市内の土産物屋などを回り、実地調査した。
  - ②観光客の多い周防大島と江田島を比較し、江田島に足りないものを見つけ出させるための資料を用意し、計画を立てさせた。
  - ③企画したことの発表の場を、江田島の一大イベントである「フェスティバル江田島」に設定し、「みかんクッキー試食コーナー」という形で実践した。
- (3) 応用編では、自己肯定感をもち社会参画への意欲をさらに高めるために地元江田島を盛り上げる講演会を企画立案から運営まで行なった。
- (4) 応用編では、コミュニケーション能力・自己表現能力を定着させるため、講演会の前座で「浜省 ON THE ROAD江田島」と題して、地域住民から浜田省吾の幼少時代について、聞き取

り調査した内容を発表したり，浜田省吾の歌を演奏したりする活動を取り入れた。

- (5) 実践編，応用編ともに，活動内容が広く地域へ伝わるように，試食会や講演会の前に活動の様子を地元紙（中国新聞）や地元テレビ局（RCC）に取材してもらい広報した。

【内容・プログラム】

**基礎編**

平成22年8月18日（水）

時間	内容	講師等
10:00～10:20	開講式	
10:20～11:20	アイスブレイク ～あたたかい雰囲気づくりから～	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
11:20～12:00	講義 「地域を大切にするには」	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
12:00～13:00	昼食	
13:10～16:40	演習 「何かをする前に！」 ～企画書づくり①～	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
17:30～19:00	夕食・入浴	
19:10～20:00	演習 「何かを計画するときに！」 ～企画書づくり②～	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
20:00～21:00	実習 「子どもの気持ちは？」 ～小学生と一緒に～	周防大島少年の船と一緒に タンツ練習
21:00～21:30	ふりかえり	

平成22年8月19日（木）

時間	内容	講師等
7:10～7:30	朝のつどい	
7:50～8:30	朝食	周防大島少年の船と一緒に
9:00～12:00	演習 「何かを計画したときに！」 ～企画書づくり③～	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
12:00～13:00	昼食	
13:30～16:30	実習 「海の上から江田島を見てみると？」 ～カッター研修～	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
17:00～17:20	夕べのつどい	
17:30～18:30	夕食	周防大島少年の船と一緒に
19:00～20:30	実習 「夏の夜の思い出づくり」 ～キャンプファイヤー～	周防大島少年の船と一緒に
21:00～22:00	入浴	
22:00～22:30	ふりかえり	

平成22年8月20日（金）

時間	内容	講師等
7:10～7:30	朝のつどい	

7:50～ 8:30	朝 食	周防大島少年の船と一緒に
8:40～ 9:30	(退所点検) 周防大島少年の船見送り	
9:30～12:00	<b>演習</b> 「自分達の考えたことをまとめてみよう！」 ～私たちの社会参画とは～ 11月14日(日)の「フェスティバル江田島2010」での発表につなげます。	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
12:00～13:00	昼 食	
13:00～15:00	<b>演習</b> 「自分達が考えたことの発表及び今後の計画」 ～今後取り組んでいきたいこと～	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
15:00～15:20	ふりかえり	
15:20～15:30	閉講式	

### 実践編

平成22年9月4日(土)

時 間	内 容	講 師 等
10:00～15:00	みかんクッキー試作	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

平成22年10月11日(月・祝)

時 間	内 容	講 師 等
10:00～15:00	みかんクッキー試作 試食会場看板作り	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

平成22年10月24日(日)

時 間	内 容	講 師 等
10:00～15:00	試食会場看板作り 当日の役割分担決め,動きの確認	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

平成22年11月13日(土)

時 間	内 容	講 師 等
10:00～15:00	クッキーの生地作り 試食会会場準備,動きの確認	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

平成22年11月14日(日)

時 間	内 容	講 師 等
9:00～10:30	クッキー焼き上げ 試食会会場準備	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
11:00～12:00	試食会	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
12:00～13:00	クッキー焼き上げ	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
13:00～14:00	試食会	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
14:00～15:00	片付け	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

## 応用編

平成22年12月27日（月）

時間	内容	講師等
13:30～14:15	アイスブレイク (仲間づくり-知り合おう-)	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
14:15～15:00	活動の導入 活動の概要を知ろう 浜省を知ろう(DVD視聴)	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
15:00～15:50	企画① 発表内容を考えよう	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
15:50～16:30	企画② 役割分担をしよう	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

平成23年1月16日（日）

時間	内容	講師等
13:30～14:00	中間発表 分担した内容の途中経過発表	
14:00～14:45	分担した内容の手直し	
14:45～15:30	進行メモづくり 「田家秀樹さんの江田島音楽トーク」	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

平成23年2月5日（土）

時間	内容	講師等
13:30～14:30	分担した内容を確認しよう	
14:30～15:30	リハーサルをしよう	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

平成23年2月11日（金・祝）

時間	内容	講師等
10:30～12:00	会場準備 リハーサル	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職
13:00～15:00	運営 「田家秀樹さんの江田島音楽トーク」進行 ①「浜省 ON THE ROAD 江田島」 ②「江田島音楽トーク」	音楽評論家 田家秀樹
15:00～15:30	片付け ふりかえり	国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

## 【活動の実際】



カッター研修で連帯感を高める塾生【基礎編】



「江田島応援計画」を話し合う塾生【基礎編】



企画をまとめる塾生【基礎編】



フェスティバル江田島での試食会の様子【実践編】



地域住民からの聞き取り調査【応用編】



講演会の受付準備（運営）【応用編】



講演会（中学生による聞き取り調査の発表）【応用編】



講演会（高校生による演奏）【応用編】



講演会（田家秀樹さんのトーク）【応用編】

## 【成果と課題】

自立的・協働的なリーダーとして明日の社会を生き抜く力を青少年が獲得するための三要素に係る調査アンケートの結果は次のようになった。（アンケート実施母体 17 人）

			※ (昨年度%)
<b>個の確立</b>	①他の人の世話が大切だと思えるようになった。	【11/17 65%】	(27.2%)
	②自分のよい点などを見つめられるようになった。	【12/17 71%】	(36.3%)
<b>自立力</b>	①人前で堂々と意見が言えるようになった。	【11/17 65%】	(59.0%)
	②周りの人たちとの関係を大切にするようになった。	【16/17 94%】	(77.2%)
<b>社会参画力</b>	①社会の一員として活動したい気持ちがわいてきた。	【13/17 76%】	(50.0%)
	②積極的な行動がとれるようになった。	【14/17 82%】	(54.5%)

アンケート結果より、全ての項目で半数以上の生徒が自分の成長を感じていることがわかった。自立力や社会参画力に至っては、8割以上成長を感じられる項目もあった。

※ 昨年度、リーダー育成を目的に実施した「パイオニアスピリットセミナー」の結果

## （成 果）

### 【基礎編・実践編】

- (1) 最初のプログラムに Cutter 研修を取り入れたことは、参加者同士の連帯感を高めるためには有効であった。
- (2) 「江田島応援計画」として、参加者にとって愛着のある江田島を盛り上げるための企画を考えることは、社会参画意欲の向上へつながった（独自アンケート：全員が肯定的評価）。
- (3) 実践編における活動の様子が事前に新聞に掲載された。「フェスティバル江田島」当日には、「新聞を見てきた」という人も多く見られた。そして、約 200 食ずつ用意したクッキーが、午前の部では 1 時間で、午後の部ではわずか 40 分ほどで全てを試食してもらうことができた。
- (4) 「フェスティバル江田島」の翌日には、地元の中学校から「保育実習で、クッキーを作って保育園児にふるまいたい」という連絡もあり、本事業の活動が地域の活動へと広がっていった。また、当施設のレストランでの食事にみかんクッキーを提供してもらうことができた。

### 【応用編】

- (5) 講演会前座の高校生による演奏では、参加者からアンコールが起こった。また、講演会に参加した人からの事後アンケートに、中高生の発表や運営に対して賞賛する内容が多々書かれており、塾生も「発表したことがたくさんの人に喜んでもらえて嬉しかった。」という感想を持つなど、達成感に満ちた活動となった。
- (6) 聞き取り調査や講演受付をする中で、あいさつの大切さを実感したという塾生や、講演に関わって親子で会話することができたという塾生もいる等、コミュニケーションの大切さに気付かせることができた。
- (7) 講師も講演会に参加した多くの人たちからも「中高生が企画した事業だから参加した。」という声を聞くことができ、塾生も「今後も自分たちで企画運営できる事業があったら是非やりたい。」という意見を出すなど、塾生にとっての社会参画意欲向上につながる事業となった。

(課 題)

- (1) 前年度内に教育委員会・学校に日程を提示し、学校行事等との調整を行い、より多くの生徒が参加しやすい環境を作っていく必要がある。